



やがて、魚をとるあみをつかって、きゅうりをはわせるようになり、その後、竹の支柱は鉄の支柱にかわり、魚をとるあみから今のネットにかわりました。

いろいろなどりよくをかさね「いわせきゅうり」とし、さかんに作られるようになりました。おもに東京・大阪方面にトラックで送り出されています。



きゅうりの作付面積のふえ方にくらべると、とれ高はぐんとふえているね。

きゅうりを作るためにいろいろなくふうをしてきたのね。

